



産業戦略デザイン室

委員長 江森 克治

10年後のあるべき姿へ 戦略づくり

成果につながる 具体的なアクション目指す

今期から産業戦略デザイン室の委員長を仰せつかりました神奈川県江森克治です。2年間よろしくお願いいたします。

産業戦略デザイン室は中長期的な予測を基に、私たちが進むべき道筋を提言する組織として2010年に設立されました。中小企業1社で自社の長期的な道筋をつけて戦略を実行していくには難しいものがあります。市場が成熟、縮小する中で、椅子取りゲームが続いています。産業戦略デザイン室の役割は、その椅子を増やす方策を示すために、中小印刷業者が集まって戦略を考えていくことです。

産業戦略デザイン室ではかつて様々なビジョンを示してきました。しかしながら、その成果が産業全体として表れてくるのが遅いと感じています。様々な阻害要因があって、示されたビジョンに取り組めていないことが大きな原因です。もちろん足元の課題に向き合うことは必要です。ただ10年後の課題に対応して成果を出すためには今から取り組まないと間に合いません。全印工連がCSR(企業の社会的責任)に取り組み始めたのは10年前です。今まさにCSRが問われる時代になりました。「やらなければ」では

なく、組合の皆さんが「やりたい」と思えて、ワクワクするようなインセンティブを作って行きたいと考えています。

産業戦略デザイン室の活動方針は次の3つです。

- ・ innovate our business
- ・ create our pole star
- ・ change our position

一つ目の「innovate our business」では、これから20年間のメディアの変化量がこれまでの比ではないと言われる中、バックカスティングで未来における印刷産業が活躍できる場を考えていきます。10年後の社会の形やニーズを踏まえた時に、我々の技術がどう活かされていくのか、その環境づくりに取り組みます。

衣料品の製造小売・ユニクロが年に2回発行している『LifeWear magazine』は150万部が印刷され、店頭で置く間もなくなくなります。当然、コンテンツはWebにも展開されています。デザインやレイアウトのノウハウがポイントで、紙媒体を起点にしてコンテンツを届けているといえます。

産業戦略デザイン室のミッション

印刷産業が勝つための戦略の策定

全印工連各社がサステナブルな経営を進める上で必要となる
全局的な作戦計画を立案・実行し、
我々に有利な時代の流れを作ること。

全日本印刷工業組合連合会

ビジョン3 + 1

- change our position
- innovate our business
- create our pole star
and...
- good public relations

全日本印刷工業組合連合会

innovate our business

イノベティブな未来を
バックキャストで構想

これからの20年のメディアの変化は、これまでの比ではないと見られます。未来における印刷産業の活躍の場をバックキャストで切り拓きます。



全日本印刷工業組合連合会

create our pole star

誰もが憧れ、目標にする
希望の星の創造

高度成長期、人々は「印刷」という仕事に憧れに集って来ました。印刷の社会的使命が変化した今、人々が憧れ、目標にする「新たな北極星」を創造します。



全日本印刷工業組合連合会

change our position

公共調達改革を通じた持続可能な
共創型地域社会の実現

物価高の流れを受けて環境に変化。持続可能な公共調達に関する全国の好事例を収集し、ベストプラクティスの提案と、啓発および全国への普及活動を行います。



全日本印刷工業組合連合会

good public relations

広報誌のリニューアル
感性に訴える効果的な広報の実現

広報誌のリニューアルや更新するWEBサイトの活用等、新たな広報戦略を通して、感性に訴える多様なニーズに応える広報活動を実現します。



全日本印刷工業組合連合会

仮に20年後、30年後にスマホがなくなっていたとしたら、私たちはきっと違うメディアでコンテンツを見ることになるでしょう。それでも紙媒体が作られ、ユニクロの雑誌のようにコンテンツ配信の起点になっていく戦略立案に挑戦していきます。

二つ目の「create our pole star」(pole star=北極星)では、印刷業に限らず情報伝達に関わるあらゆる人たちが目指す業態を考えていきます。昨年、広島で開かれた全印工連フォーラムで、SF プロトタイピングを基に、モノづくりと実体験を提供するXI (エクスペリエンスインテグレーター：統合体験業)という職業を仮想し、クリエイターの未来像として示しました。印刷業をはじめ、デザイナーや企業の広報担当、広告代理店など、様々な業種の人たちがそうした業態を目指すという仮説なのですが、産業戦略デザイン室では XI のように情報伝達に関わる人たちを引き込むための新しい枠組み、魅力を作っていきます。印刷業の再定義ということではなく、自然に溶け込めるようにしたいと考えています。

三つ目の「change our position」では、SR(社会的責任)に沿って、公共調達の中に私たちの確たる立ち位置を築いていきます。価格だけで競争するのでは誰も幸せになりません。持続可能な公共調達に関する全国の好事例を収集し、官民共創の新しい受発注モデルとして、官公庁や自治体に SR に沿った調達の啓発と全国への普及活動を行います。

この三つの課題に取り組むに当たっては、副委員長をリーダーとする各分科会を設け、情報を共有しながら進めていきます。さらにプラスα「good public relations」として、全印工連の広報誌をリニューアルするとともに、Web サイトの活用など組合の皆様の情報ニーズに応えていきます。

産業戦略デザイン室のメンバー一同、10年後に「あつてよかった」と言って頂ける戦略立案を目標に事業を展開してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。